



移住者名	柳野 達治
都道府県	長崎県 五島市
移住先	長崎市⇒五島市
移住年	2017年
職業	会社員⇒自営業
家族構成	夫婦2人 子1人
移住形態	Uターン

Q. 移住したきっかけは？

もともと五島市へ帰ってくる希望があり島を離れ料理の修行を開始しました。その中で長崎市にて結婚し、子供も生まれ、日々の生活に追われるうちに、五島へのUターンが遠のいていました。常に「帰らねば」という気持ちがあるものの、なかなか踏み出す事ができず過ぎておりました。そんな中、百姓一筋の祖父が亡くなり、葬儀へ参列する地域の方々の顔ぶれを見るにつれ、高齢化が深刻で、このままでは近い将来、地域活動が困難になる事が予想されました。たった一人の力かもしれませんが、地域の力になる事と、今まで受けた恩を返していくなら今しかないと思い決断しました。さらに、そのタイミングにて国境離島新法が施行され、移住への行動が加速しました。現在は島の食材を使ったイタリアンレストランを経営しております。

Q. 移住の際不安に思ったことは？

私自身はUターンになるのですが、妻と子供はIターンになります。知り合いも友達もない、右も左もわからない島への移住を決断してもらったものの、島の生活に馴染んで行けるのかが正直心配でした。妻は移住から1年が経過し、買い物などは車を使い不自由なく行っており、時間があるときには島内にあるカフェに行ったりしております。なかなか時間が取れず、島内をゆっくり案内することも出来ておりませんので、今後は島の暮らしをよりよくするために色々な場所へ連れ出そうと思っております。

子供は、小学生が3人しかいない地区なのですが、奇跡的に同級生が1人おり、毎日のように自転車で農道をかけまわっております。一番の親友だと子供の口から聞いた時には本当に安堵いたしました。

Q. 移住して良かったことは？

周り一面緑に囲まれた中で生活し、職場も田圃のそば。仕事自体のハードさは本土と全く変わりはないのですが、厨房から一步外に出るとのどかな風景がひろがっており、心癒されます。食材も本当に鮮度が良く、特に魚に関しては感動する事が多々あります。また、長崎市内にいた頃は、子供から秘密基地を作りたいと言われても、本当にできる場所がなく、可哀想な思いをさせたのですが、移住後は家の裏山に好きに作っていいよと言うと、目を輝かせて飛び回っております。自然の中で思うがままに遊ばせられる事ができ、うれしく思います。

Q. 移住を考えている方へメッセージ

島で生まれ、島で育ち、島で生活する事が当たり前になっているUターン者の意見として。

情報や流通の発達により、私が暮らす五島市も随分と便利で暮らしやすい島になっております。島で暮らしていくハードルは以前より低くなっているように感じてはおりますが、やはり、移住後にいかに地元の方とうまく付き合っていくかが大切になってくると思われます。地域の行事には積極的に参加し、協力していく姿勢を見せるのも必要だと思います。また、島の方々はお酒好きが多いように感じますが、普段はムスツとしてるおじさんも、酒が入ればフレンドリーになったりと、酒を酌み交わす事によるコミュニケーションが根強く残っており、親しくなれる手っ取り早い方法でもあるので、そのような会があれば勇気を出して参加してみるのもいいと思います。わずか数時間でその地区や島の事を知る機会が得られると思います。方言や風習は違えど、同じ人間です。お互い分かり合えれば、きっと幸せな移住生活が待っていると信じています。